

- 問1 平地が少ない都市で行われる「山地造成と海面埋め立て」による開発手法について、この手法で生まれた土地の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2023年 石川県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------|------------------------------|-----------------------------------|---|
| 1. 山地側：工業団地／
海側：森林公園 | 2. 山地側：採石場／
海側：干拓による大規模農場 | 3. 山地側：歴史的建造物の保存地区
／ 海側：大規模な水田 | 4. 山地側：ニュータウン（住宅地）
／
海側：人工島（市街地・港湾施設） |
|-------------------------|------------------------------|-----------------------------------|---|
- 問2 北海道の北東側に位置し、択捉島や千島列島に囲まれた海域の特徴として、最も適切なものはどれか。（2016年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|--|------------------------------|
| 1. 日本海流と千島海流がぶつかり、
世界的な好漁場となっている。 | 2. 一年を通じて温暖で、サンゴ礁が
広く分布している。 | 3. 対馬海流の影響を強く受け、冬に
雪を降らせる湿った空気を供給する。
。 | 4. 冬になるとシベリア沿岸から流氷
が漂着する。 |
|--------------------------------------|---------------------------------|--|------------------------------|
- 問3 日本列島の地形的な特徴とその背景について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2018年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 大陸の安定陸塊の一部であるため、
地震の発生は極めて稀であり、古い
地層が露出している。 | 2. 環太平洋造山帯に位置しており、
地殻変動が活発なため、火山が多く
地震も頻繁に起こる。 | 3. 古期造山帯に属しており、長期間
の浸食を受けたなだらかな山地が列
島の大部分を占めている。 | 4. アルプス・ヒマラヤ造山帯の延長
線上に位置するため、8000メートル
級の高峰が連なっている。 |
|---|--|--|--|
- 問4 日本の中部地方において、飛騨・木曽・赤石山脈からなる日本アルプスの東側に位置し、日本列島を地質学的に東日本と西日本に分ける巨大な溝状の地形帯を何と呼びますか。（2017年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|------------|------------|----------|
| 1. 日本海溝 | 2. 環太平洋造山帯 | 3. フォッサマグナ | 4. 中央構造線 |
|---------|------------|------------|----------|
- 問5 2万5千分の1の地形図において、特定の場所の標高を正確に読み取るために用いられる「等高線」の仕組みについて正しく述べたものはどれか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 標高の等しい地点を結んだ線であり、
等高線の間隔が広がっている場所ほど
傾斜が急であることを示している。 | 2. 海岸線からの距離を示す線であり、
数字が大きくなるほど海から離れた
内陸部の施設であることを示している。 | 3. 標高50メートルごとに太い実線である
計曲線が、10メートルごとに細い
実線である主曲線が引かれている。 | 4. 標高100メートルごとに太い実線である
計曲線が、20メートルごとに細い
実線である主曲線が引かれている。 |
|---|---|---|--|
- 問6 日本の地形の特色について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 日本列島の中央部には、西日本を
南北に分けるフォッサマグナと呼ば
れる巨大な断層がある。 | 2. 日本アルプスの東側には、日本列
島を東西に分けるフォッサマグナと
呼ばれる帯状の地域がある。 | 3. 日本列島を東西に分けるフォッサ
マグナは、九州地方から関東地方ま
で続く一本の断層線である。 | 4. フォッサマグナは日本で最も高い
山脈の名称であり、その東側と西側
で気候が大きく異なる。 |
|---|---|---|---|
- 問7 山地から平野へ出る場所を中心に等高線が扇状に広がり、標高の変化が緩やかな傾斜地となっている地形について、その土地利用の特徴として最も適切な説明はどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 粒の大きな砂や礫が堆積して水は
けが良いため、古くから果樹園など
に利用されてきた。 | 2. かつての海底が隆起してできた平
坦な土地であるため、大規模な工業
団地として利用されている。 | 3. 粒の細かい泥が堆積して水もちが
良いため、全域が水田として利用さ
れている。 | 4. 河口付近で流れが停滞してできた
湿地帯であるため、主に海苔の養殖
が行われている。 |
|---|---|---|--|
- 問8 ある地域の8月の平均気温を調査したところ、都心部を中心として27度の等温線が囲んでおり、その周囲の郊外地域は25度から26度と相対的に低くなっていました。このように、都市中心部の気温が、郊外や周辺部と比較して島のように高くなる現象を何といいますか。（2014年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------|--------|--------|----------|
| 1. ヒートアイランド現象 | 2. 酸性雨 | 3. 砂漠化 | 4. 地球温暖化 |
|---------------|--------|--------|----------|
- 問9 日本の典型的な地形である扇状地と三角州を比較した記述として、正しいものはどれですか。（2022年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 扇状地と三角州はいずれも保水力
が非常に高いため、日本における主
要な稲作地帯として同様の土地利用
がなされている。 | 2. 扇状地の中央部は水はけが良いた
め果樹園に、河口付近の三角州は水
持ちが良いため水田に利用されるこ
とが多い。 | 3. 扇状地は泥が堆積して水田開発が
進められたが、三角州は砂地で乾燥
しているため果樹園として開発され
た。 | 4. 扇状地は海辺に形成されるため塩
害に強く、三角州は山地に形成され
るため寒さに強い作物が栽培される
。 |
|--|---|--|---|
- 問10 日本の周辺を流れる海流の分布において、北から南へ向かう流れ（寒流）について説明した文として正しいものはどれですか。（2017年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 太平洋側では黒潮が南下し、日本
海側では対馬海流が南下している。 | 2. 太平洋側では親潮が南下し、日本
海側ではリマン海流が南下している
。 | 3. 太平洋側ではリマン海流が南下し
、日本海側では親潮が南下している
。 | 4. 太平洋側では対馬海流が南下し、
日本海側では黒潮が南下している。 |
|--|---|---|--|
- 問11 地形図において土地の起伏や傾斜を読み取る際、等高線の間隔が広がっている場所はどのような地形の特徴を持っていると判断できますか。（2026年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------|--------------|----------------|------------|
| 1. 周囲より土地が陥没している | 2. 傾斜が緩やかである | 3. 標高が平均海面より低い | 4. 傾斜が急である |
|------------------|--------------|----------------|------------|
- 問12 長野県松本市などの気候統計では、冬の月平均気温が氷点下近くまで下がり、夏の月平均気温は25度を超えますが、月間降水量は年間を通して150mm以下と少なく推移します。このように降水量が少なくなる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 湿った季節風が周囲の山地を越え
る際に雨や雪を降らせ、乾燥した空
気が流れ込むため | 2. 一年を通じて安定した高気圧に覆
われ、上昇気流が全く発生しないか
ら | 3. 冬に北西からの季節風が山脈を越
えて、大量の雪を降らせることで乾
燥するから | 4. 夏に南東からの季節風が直接吹き
込み、上昇気流が発生しにくい地形
だから |
|--|---|---|---|
- 問13 日本の諸都市の気候を比較したとき、年間を通して降水量が少なく、月ごとの降水量が100mmを超えることがほとんどない都市（長野市など）に見られる気候区分を何といいますか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|----------|-----------|------------|
| 1. 太平洋側の気候 | 2. 内陸の気候 | 3. 瀬戸内の気候 | 4. 日本海側の気候 |
|------------|----------|-----------|------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 山地側：ニュータウン（住宅地）／ 海側：人工島（市街地・港湾施設）	山地を削って得られた平坦な土地は「ニュータウン」として市街地化され、その土砂で海を埋め立ててできた人工島は、港湾機能、工業用地、あるいは新たな市街地として利用されます。単なる土砂の処分ではなく、両方の場所を新しい都市空間として活用するのがこの手法の特徴です。
問2	答え 4 冬になるとシベリア沿岸から流氷が漂着する。	北海道の北東側に位置するオホーツク海は、択捉島や千島列島に面した海域です。冬になるとシベリア沿岸で凍った海水が、季節風や海流によって運ばれてくる「流氷」が見られることが、日本付近の他の海域にはない大きな特徴です。
問3	答え 2 環太平洋造山帯に位置しており、地殻変動が活発なため、火山が多く地震も頻繁に起こる。	日本の地形を理解する上で、環太平洋造山帯という位置関係は重要です。この造山帯は地球上のプレートが沈み込む場所などに形成されるため、地下のマグマが発生しやすく火山が形作られるほか、プレートのひずみが解放される際に大規模な地震が発生します。これに対し、安定陸塊は地震がほとんどなく、アルプス・ヒマラヤ造山帯はアジアからヨーロッパにかけて横断する別の造山帯です。
問4	答え 3 フォッサマグナ	ラテン語で「大きな溝」を意味するこの地形帯は、日本列島の形成過程で生じた巨大な陥没地帯に、新しい地層が厚く堆積してできたものです。この境界を境に、日本列島の地質構造が大きく異なるため、日本の自然環境や地形の成り立ちを理解する上で非常に重要な区分となっています。
問5	答え 3 標高50メートルごとに太い実線である計曲線が、10メートルごとに細い実線である主曲線が引かれている。	2万5千分の1の地形図では、地形の起伏を表現するために等高線が用いられます。等高線には、読み取りを容易にするための太い線（計曲線）と、通常の細い線（主曲線）があり、計曲線は50メートルごと、主曲線は10メートルごとに引かれます。なお、5万分の1の地形図の場合は、計曲線が100メートル、主曲線が20メートルごとになるため、地図の縮尺によって等高線の間隔が異なる点に注意が必要です。
問6	答え 2 日本アルプスの東側には、日本列島を東西に分けるフォッサマグナと呼ばれる帯状の地域がある。	フォッサマグナは、山脈や断層線そのものを指す言葉ではなく、日本列島を東西に分断する「帯状の地域」を指します。混同されやすい中央構造線は、主に西日本を北側（内帯）と南側（外帯）に分ける巨大な断層のことを指します。
問7	答え 1 粒の大きな砂や礫が堆積して水はけが良いため、古くから果樹園などに利用されてきた。	扇状地は山から流れ出た直後の場所に形成されるため、上流から運ばれた比較的大きな粒の砂や礫（れき）が堆積します。そのため、水が地下に浸透しやすく地表が乾燥しやすい（水はけが良い）という特徴があります。この性質を利用して、ブドウやモモなどの果樹園として利用されることが多く、水が得にくい中央部は「扇央」と呼ばれます。
問8	答え 1 ヒートアイランド現象	都市部では地面の大部分がアスファルトやコンクリートで覆われているため、太陽の熱を吸収・蓄積しやすくなっています。さらに、自動車やエアコンなどから放出される人工排熱も多いため、郊外に比べて気温が高くなります。この温度分布が等温線図において島（アイランド）のような形を示すことから、この名称で呼ばれます。
問9	答え 2 扇状地の中央部は水はけが良いため果樹園に、河口付近の三角州は水持ちが良いため水田に利用されることが多い。	地形の形成過程と堆積物の違いが土地利用に反映されています。扇状地は山の出口に砂礫が積もるため水はけが良く果樹園に向きますが、川の最下流（河口）にできる三角州は、より細かい泥などが堆積して平坦な地形を作るため、水が溜まりやすく稲作（水田）に適しています。このように、土地の自然条件に合わせて異なる農業が行われてきました。
問10	答え 2 太平洋側では親潮が南下し、日本海側ではリマン海流が南下している。	日本近海の寒流は、太平洋側では千島海流（親潮）が北海道から三陸沖にかけて南下し、日本海側ではリマン海流が大陸沿いを南下しています。これに対し、南から北上する暖流は太平洋側の日本海流（黒潮）と、日本海側の対馬海流があります。
問11	答え 2 傾斜が緩やかである	等高線は同じ標高の地点を結んだ線であり、その間隔は標高の変化の度合いを示しています。間隔が広いということは、水平距離に対して標高の変化が少ないことを意味するため、地形は平坦、あるいは傾斜が緩やかであると読み取ることができます。逆に等高線が密集している場所は、短い距離で標高が大きく変わるため、急な傾斜地であることを示します。
問12	答え 1 湿った季節風が周囲の山地を越える際に雨や雪を降らせ、乾燥した空気が流れ込むため	夏は太平洋側から、冬は日本海側から湿った空気が流れ込みますが、中央高地に到達するまでに高い山脈を越える必要があります。空気中の水分は山脈の風上側で雨や雪として降ってしまうため、山を越えて中央高地に吹き込む風は乾燥した状態になり、年間降水量が抑制されます。
問13	答え 2 内陸の気候	周囲を高い山々に囲まれている地域では、海からの湿った空気が山地によって遮られるため、年間を通して降水量が少なくなります。また、海の影響を受けにくいいため、夏と冬の気温差や、一日の気温差（日較差）が大きくなるのも特徴です。